

■活動状況

2019 年度事業報告

2019 年度の暮までの日本経済は、改元やオリンピックによるプラス面も見られたものの、米中の経済摩擦と消費増税に伴う駆け込み需要の反動に加えて、自然災害の影響もあり、製造業では需要の鈍化といったマイナス面が見られた。年明け後に始まった新型コロナウイルス感染症の猛威により、日本でも緊急事態宣言が布告され、人の参集の規制が敷かれ、未曾有の経済活動の収縮を強いられる状況だけでなく国境をまたいだ企業のサプライチェーンが分断され、グローバル化の限界が指摘される事態になった。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、これまで九州経済を牽引して来た自動車やロボット産業および関連の素材産業、そして旅行・観光・サービス業にも需要の低迷と言う深刻な影響が出ている。国や自治体には、企業の倒産や廃業を防ぐため、資金繰り支援や雇用調整助成金の拡充、給付金の迅速な実行が求められている。

NPO 法人北九州テクノサポート (KTS) の 2019 年度の活動を振り返ってみると、前年度から取組んだ EA21 地域事務局再編の流れの中で、山口県を中心に活動している NPO 法人環境奇兵隊との合併を臨時総会で審議を行い、承認され体制強化した。その結果、当事務局は EA21 中央事務局より『中核事務局』に認定され、その名称も地域事務局「福岡」から「環境未来」と改名し、今後の支援拡大への基盤を構築した。この動きの中で、従来、個別活動を行ってきた他のグループ活動と横連携強化の動きを進め、KTS 全体の連携を強化する動きが生まれている。会員は多様なキャリアの集団であり、北九州市が強力に推進する SDGs の勉強会・会員相互情報交換会等で新技術の習得や相互理解を深めながら、地域産業の振興、活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活動を展開した。

<2019 年度の主な活動>

<関係先>

● 北九州地域産業人材育成事業 (地域連携型インターンシップ支援活動)	北九州地域産業人材育成フォーラム (公財)北九州活性化協議会
● 西日本製造技術イノベーション 2019 販路開拓事業 ● 中小企業テクノフェア in 九州 2019 販路開拓事業	(公財)北九州観光コンベンション協会
● 九州工業大学 産学連携アソシエイト派遣	九州工業大学イノベーション推進機構
● 北九州商工会議所アドバイザー活動の推進 (ものづくり補助金申請書作成指導支援等)	北九州商工会議所
● 製品開発・業務改善指導など	K 社、S 社
● 広報誌(夏号/冬号)の発行	県、市、FAIS、学術機関、賛助会員、広告会員
● 「第 4 次産業革命」勉強会 1 回開催	NPO-KTS、地元企業、北九州市関係者他
● 「SDGs」勉強会」3 回開催	NPO-KTS、地元企業、北九州市関係者他
● エコアクション 21 認証・登録事業の推進	(一財)持続性推進機構中央事務局
● 会員相互情報交換会	NPO-KTS 会員、地元企業
● 新型コロナ感染防止のためテレワーク推進	NPO-KTS 会員、関係先